



ひやまバリアフリー しじゃー事業 回覧

体の不自由な方のための小さなひやまの大きなおもてなし

バリアフリーレジャーに大切なこと

ユニバーサルデザイン(有)環工房 牧野代表取締役



障がい者を受け入れる皆さんにとっては、多くのお客さんの中の一人かもしれませんが、ある人にとっては、特別な出来事かもしれません。

笑顔で対応してもらえることが、何よりも嬉しいことです。一期一会の言葉を大切に思いやりを持って接していただきたい。

石川バリアフリーツアーセンター 坂井理事長

モニターツアーで1人で出かけたことのない人が旅行にきましたが、滝行や宿泊の後、バリアのあるところを人の助けを借りても乗り越えられたということが自信になりました。

障がいを持った人は、出たくないのではなく、出た後でどうなるかが心配なのです。「出て行ってよかった」と思えると次につながります。



石川県中能登町役場 高名企画課長

中能登町のまちづくり
風の人・土の人が
交わるまちづくり
石川県 中能登町



バリアフリーのハード整備を完璧にしてしまうと、逆に疎外感というか、冷たい感じになります。

バリアというのはコミュニケーションツールなんです。バリアがあるからこそ、お互い声を掛け合うことができ交流が生まれます。だから心のバリアフリーをしっかりと進めていくことが大切なんだと思います。

先進地調査研究（石川県）

平成30年11月26～28日にバリアフリーレジャーの先進地調査で石川県を訪問しました。輪島市、金沢市、小松市、中能登町などを巡り、先駆的な取組を学びました。

石川県中能登町の取組

障害攻略課
シユウガイコロリアク

中能登町では「障害攻略課プロジェクト」として、先駆的な取組を実施。

1. バリアフリー滝行

不動滝では、車いすに乗ったままでも滝つぼまで進めたり、濡れない白装束もあったり、誰でも滝行が行えます。



2. 繊維スポーツの振興

中能登町は繊維産業の町であり、繊維生地を活かしたスポーツを開発。写真は、大きな布を動かし、繊維でできたボールを穴に入れ、その数を競う、座ったままでも行えるポップコーンウェーブというスポーツ。



3. 切断ヴィーナスファッションショー

中能登町で作られたドレスや着物のファッションショーを開催。切断者の義足が見えるようにデザインされ、普段、義足を見ることのない人も義足を身近に感じられるようになりました。

写真提供：石川県中能登町・写真家・越智貴雄



石川バリアフリースターセンターの取組



石川バリアフリースターセンターでは、『行きたいところに、行けたらいいな』をポリシーに、高齢者や障がい者が利用しやすい観光情報の紹介や、バリアフリー観光マップの作成、介助サービスのコーディネートなどを行っています。

各観光施設のバリアフリー調査を実施し、ホームページや観光マップで情報を発信しています。

ホームページ <http://ibarifuri.com/>

調査研究を終えて！

今回の先進地調査研究で、「行政には行政の、民間には民間の役割があり、行政と民間が合わさらないとまちづくりはうまく行かない。」という坂井理事長（石川バリアフリースターセンター）の言葉が印象的でした。ひやまバリアフリーレジャー事業も、地域の皆さまと協力しながら取り組んでいきます。by調査団長

バリアフリーレジャー講演会開催

平成30年10月27日・30日

『観光介助士*資格取得講座』



10月27日にせたな町、10月30日に奥尻町で開催し、障がいの種別と対応方法に関する講義と実技に加え、旅行・観光の仕事の基礎知識やユニバーサル観光の現状などを学びました。

合わせて52の方が観光介助士の資格を取得しました。



*「観光介助士」とは、一般社団法人日本UD観光協会が認定する資格で、だれもが安心・安全・楽しく旅行できるように、観光と福祉の知識やスキルを持った人材の育成を目指すものです。

一般社団法人日本UD観光協会ホームページ → <http://www.juta.jp>

平成30年10月28日

『講演会&バリアフリーホテルあすなろの施設見学会』

乙部町のホテルあすなろで開催し、35人の参加がありました。

車いす当事者であるユニバーサルデザイン(有)環工房の牧野先生による「心のバリアフリー」に関する講演の他、江差追分会事務局の三好氏、北海道奥尻島観光協会の制野氏、(有)東ハイヤーの松本氏による、それぞれの立場でのバリアフリーレジャーの取組内容に関するパネルディスカッションが行われました。講演後はホテルあすなろの見学会も行われました。



車いすを利用されている方への介助（お手伝い）

歩くことが難しい人や、歩く力が弱い人は、車いすを使ってお出かけをします。
車いすを利用されている方はどんなことがバリア（障害）となっていると思いますか？

注意 段差があって困っています。

入りたいお店の前に段差があるので入れません。
横断歩道で車道と歩道に段差があって進めません。
そんなときはどんなお手伝いができるのでしょうか？
ちょっとしたお手伝いでバリアを越えることができます！



やってみよう！

ちょっとしたお手伝いがあれば段差を越えられます

介助方法（お手伝いの方法）

- ①まずは声かけをします。「お手伝いすることはありますか？」
- ②「段差を上るお手伝いをお願いします」と聞いたら、お手伝い開始です。
- ③車いすの後の足元にあるステッピングバー（棒）を踏み込み前輪を上げます。
- ④前輪を上の方に静かに乗せます。
- ⑤後輪をゆっくりと押し上げます。



便利なUD道具のご紹介

<聞こえにくいにお役立ち>

・呼び出しチャイムセット

声や音を検知すると、離れた場所でチャイムやメロディが鳴り、フラッシュライトで来客を知らせてくれるなどいろいろなタイプがあります。



<食べる時にお役立ち>

・立つトング（写真左）

短くてつかみやすい！

・滑り止めマット

下に敷くと器が滑らず食べやすい！

・麺切りバサミ（写真右）

料理を小さく切ると食べやすい！

※100均で買えます

